

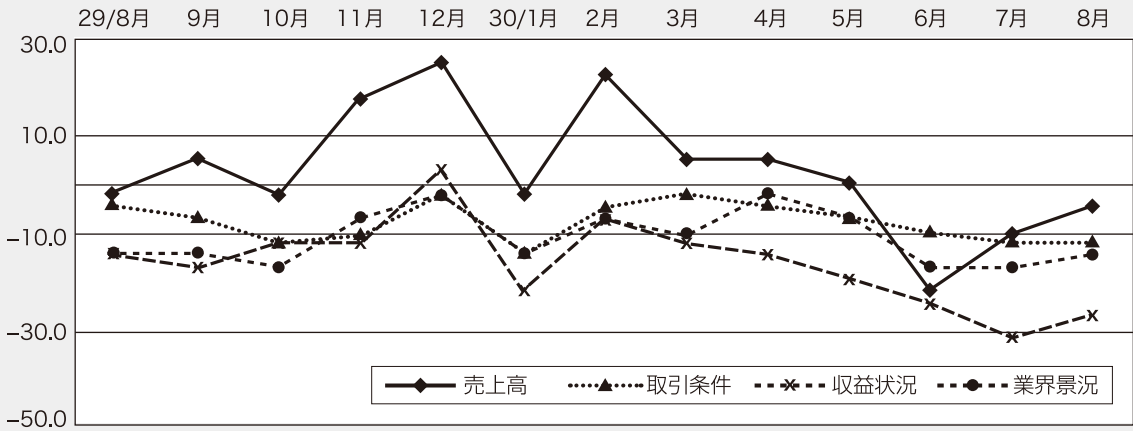


業界の今!

情報連絡員報告より
8月の業界の動き

◆ 平成30年8月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	29/8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	5.0
取引条件	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	0.0
収益状況	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	5.0
業界景況	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	2.5

概要

平成30年8月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」と「収益状況」は5.0ポイント、「業界景況」は2.5ポイント上昇した。「取引条件」に変化はなかった。

今年の8月は猛暑のため、エアコンや冷菓など、季節商品は好調であったが、猛暑による集客の落ち込みや、電気代増加など、経費が圧迫したとのコメントがあった。また、猛暑と前半の雨不足の影響で、青果では果菜類を中心に高値が続いている。

今後は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見込まれるものの、人手不足や原材料の上昇など、先行きを依然として注視していく必要がある。

猛暑と雨不足の影響で果菜類を中心に高値が続いている (青果)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	製麺	製麺業界では個人商店は毎年廃業者が出ていて、厳しい状況が続いている。当組合も伊勢うどんや生ラーメンに特化した会社しか続けていけないのが現状である。しかし、伊勢うどんは年々知名度が上がっており、今後も知名度を上げるために精進していく。
	紙・紙加工品	紙器 段ボール	7月同様に、猛暑の影響で冷菓食品向けの段ボールケースの出荷が増加した。企業の夏休み、お盆休みが多い月であったが、それぞれユーザーの生産も好調の様子である。
	一般機器	鳥羽	受注、発注は8月に入っても好調であるが、受注先によっては、部分的に受注が前月に比べてトーンダウンした状況が見られる。
非 製 造 業	小売業	青果	7月からの猛暑と雨不足の影響で高値が続いていた葉物のキャベツ、レタスが降雨があり、入荷が安定し、価格も昨年並みに戻った。レタス、ほうれん草も生産が回復している。一方果菜類のキュウリ、トマト、ナスは高値が続いている。贈答用の果物は、例年より高く、雨が少なかったため、小さいサイズだが、甘みの多い梨と桃はお値打ちである。秋の果物、柿、栗の入荷も少しずつ増えてきた。
	商店街	熊野市	今年23回目を迎えた和太鼓フェスは、天候にも恵まれ大勢の観客で賑わった。また、同時開催された物産展も盛況であった。17日に開催された熊野大花火大会に併せ、商店街内で開催された「郷土くまの物産展」は今年も学生のボランティアの協力もあり、各出店業者も売り切れが出るほどの盛況であった。
	建設業	水道工事業	今年は特に大きな変化はみられなかったものの、猛暑や台風などの天候による影響は多少受けることとなった。